

**早稲田大学日本語教育学会 2018年 春季大会プログラム**  
**開催日時 2018年 3月17日(土) 10:30~18:20**

\*\*\*\*\*

**【会場】** 早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 7階 710・711・712 教室  
 休憩室および懇親会 19号館 5階 508 教室 (休憩室 16:30 まで)

**【時間】** 受付 10:00~ (19号館 7階 710・711・712 教室前ホール)  
 開会式 10:30~10:35 (19号館 7階 711 教室)  
 企画講演 10:35~12:05 (19号館 7階 711 教室)  
 ポスター発表 13:00~14:00 (19号館 7階 710・712 教室)  
 口頭発表 14:10~15:15 (19号館 7階 711 教室)  
 企画パネル 15:25~16:55 (19号館 7階 711 教室)  
 実践エキスポ 17:05~18:05 (19号館 7階 710 教室)  
 ブックセミナー " (19号館 7階 712 教室)  
 総会 18:10~18:20 (19号館 7階 711 教室)  
 懇親会 18:30~19:30 (19号館 5階 508 教室)

**【参加費】** 会員 500 円・非会員 600 円・専任教員 1,000 円 (いずれも予稿集代込)  
 ※事前申し込み不要。直接会場までお越しください。  
**【懇親会費】** 1,000 円 (参加自由。当日受付でお申し込みください。)

\*\*\*\*\*

**【企画講演】** 10:35~12:05

<b>会場：19号館 7階 711 教室</b>
企画講演：文章・談話の「つながり」と「まとまり」—日本語教育学への提言— 佐久間まゆみ (早稲田大学)

**【ポスター発表】** 13:00~14:00

第一会場：19号館 7階 710 教室	第二会場：19号館 7階 712 教室
(1) ビジネス日本語クラス履修者のキャリア意識に関するパイロット調査報告—アンケートとインタビューの調査結果を通して— 寅丸真澄・齊藤真美 (早稲田大学)	(5) 留学生との協働プロジェクトは地域住民に何をもたらしたか—C 町国際化事業に焦点を当てて— 式部絢子 (秩父別町役場/北海道大学)
(2) 漢字レベルチェックテストから見る各レベルの学習者の漢字力—IRT を用いた初級・中級漢字テストの項目分析— 岩下智彦 (早稲田大学)・山本真理 (関西学院大学)	(6) 絵本を教材として使う(3)：語彙・文法・表現の検討 小松麻美 (早稲田大学大学院生/韓国・蔚山大学)
(3) 実践報告：ボランティア自らの手による、日本語ボランティア養成講座の企画運営—地域で活動したくなる講座を目指して・鶴見国際交流ラウンジの取り組み— 松井孝浩 (横浜市国際交流協会)・日高嘉恵 (鶴見国際交流ラウンジ)・藤井美香 (横浜市国際交流協会)	
(4) 年少者日本語教育実践における実践観の更新に関わる要因—「目黒モデル」実践者の指導記録分析を通して— 福留奈美・西島阿弥子・北田蓉子・山本祐梨子 (早稲田大学大学院生)・人見美佳 (目黒区教育委員会)	

**【口頭発表】 14:10～15:15**

時間	会場：19号館7階711教室
14:10～14:40	(1) 中国人日本語学習者の論説文の要約文における接続表現の課題 董芸（行知学園日本語学校）
14:45～15:15	(2) 日本語の会話において話者が名称を知らない指示物の同定はどのように行われるか—相互行為分析の観点から— 千石昂（早稲田大学大学院生）

**【企画パネル】 15:25～16:55**

会場：19号館7階711教室
日本語教育においてコミュニケーション教育が目指すもの <発表者>任ジェヒ・平松友紀（早稲田大学大学院生）・蒲谷宏（早稲田大学） <コメンテーター>李婷・李址遠（早稲田大学大学院生）

**【実践エキスポ】【ブックセミナー】 17:05～18:05**

実践エキスポ 会場：19号館7階710教室	ブックセミナー 会場：19号館7階712教室
(1) 教育の質を向上させるための内省ツールの開発—自らの教育実践と研究活動のふり返しを通して— トンプソン美恵子・伊藤奈津美・毛利貴美・舘岡洋子（早稲田大学）	今、著者が語る日本語教育 *宮崎里司・杉野俊子（編著）『グローバル化と言語政策—サステイナブルな共生社会・言語教育の構築に向けて』（明石書店） *李在鎬（編著）『文章を科学する』（ひつじ書房） 宮崎里司・李在鎬（早稲田大学）
(2) 新聞を用いた活動型読解授業の実践 山本真理（関西学院大学）	